

平成24年第9回函館市教育委員会定例会 会議録

- 1 日 時 平成24年9月24日（月） 午後1時30分
- 2 場 所 八幡小学校
- 3 出席委員 橋田委員長，河村委員，小葉松委員，星野委員，山本委員
- 4 欠席委員
- 5 事務局 種田生涯学習部長，岡野学校教育部長，堀田生涯学習部次長，
坂野生涯学習部次長，渡邊管理課長
- 6 傍聴者 なし

7 付議事項

- 日程第1 議案第1号 平成24年度教育委員会の事務の点検および評価報告書（案）の決定に関し，議決を求めることについて
- 日程第2 報告事項 教職員の懲戒処分内申の結果について
- 日程第3 視 察 アフタースクール視察
- 日程第4 懇 談 八幡小学校教職員との懇談

■橋田委員長

- 開会宣言 午後1時30分
- 議事録署名人に，河村委員，小葉松委員を選任。
- 本日の日程のうち，日程第1，議案第1号「平成24年度教育委員会の事務の点検および評価報告書（案）の決定に関し，議決を求めることについて」および日程第2，報告事項「教職員の懲戒処分内申の結果について」を秘密会としたいがいかがか。

〈異議なし〉

■橋田委員長

- 異議がないので秘密会とさせていただきます。
- 日程第1，議案第1号「平成24年度教育委員会の事務の点検および評価報告書（案）の決定に関し，議決を求めることについて」説明を求める。

（秘密会につき，会議録省略）

■橋田委員長

- 議案第1号は，原案のとおり可決する。
- 次に，日程第2，報告事項「教職員の懲戒処分内申の結果について」報告を求める。

(秘密会につき，会議録省略)

■橋田委員長

- 次に，日程第3「アフタースクール視察」を行う。

(視 察)

■橋田委員長

- 次に，日程第4「八幡小学校教職員との懇談会」を始める。

- ・校長

アフタースクールについては，先日の懇談会で保護者から好評をいただいている。

- ・橋田委員長

家で一人でテレビを見ているよりはよっぽど生産的。楽しそうにやっている。

以前から本校でアフタースクールとは名打たないが，放課後勉強会をやっていると聞いているが，退職校長ともう一人が入ってくることによって何か齟齬はないか。

- ・校長

特にない。効果としてはいくつもあり，先生が放課後仕事できる。普段アフタースクールは回数が決まっているので，それ以外は学級担任の特別指導など，両輪で指導できる。

- ・橋田委員長

調整で教頭先生が忙しくなければよいが。

- ・山本委員

2人の指導者は忙しそうだ。児童のあちこちから声がかかる。

- ・校長

学びの機会を多く設定できるのは良い。

- ・山本委員

子どもたちが家で一人で勉強するより友達とやった方が良い。

- ・河村委員

出勤簿みたいのがあったが。

- ・校長

帰りが遅くなるので親の承認をもらっている。

- ・橋田委員長

アフタースクールについて，校長から要望などはないか。

- ・校長

当校の課題として受け止めているが，当初からすると子ども達のマンネリ感がでているので，刺激を与えないといけないと思う。

・山本委員

アフタースクールはここと駒場小で行っている。いろいろ気づいた事があれば教えてほしい。

・橋田委員長

上級生が下級生を教える事はあるのか。

・校長

時間帯がかぶる事があまりない。

・橋田委員長

ドリルをもっていたが、先生が印刷したものか。

・校長

そういうものもある。

・橋田委員長

アフタースクールについて、他の学校はどんな感じですか。

・校長

校長達の総意としては進めてほしいと思っているようだ。

・橋田委員長

予算との兼ね合いがあり、指導員を増やしてほしいなど、要望はたくさんあると思う。

・小葉松委員

最初の2校は教育委員会が選んだのか。

・山本委員

学校にも意向を聞いた。近隣にサポーターがいるかどうかなど調整した。

・学校教育部長

別に寺小屋もあるのでダブらないようにした。徐々に増やしていきたい。

・星野委員

学童保育に行く子もいるのか。

・校長

ここは学童もやっている。

・橋田委員長

あさひ小学校でやっているのは。

・学校教育部長

ゆうやけ広場である。遊びなども含めて地域の方々が積極的に行っている。

・山本委員

アフタースクールだけでなく、普段の様子など何かあるか。

・校長

市内の学校に共通する事であるが、特別支援学級相当な児童や通常学級との境界にいる児童が結構いる。通常学級になると他の子への支援がかなり手薄になってしまうので、支援をお願いしたい。

・教頭

アフタースクールについて 2 点ある。1 点目は、子ども達の復習になり知識が定着していると教員達は感じている。2 点目は、保護者との懇談会では非常に良いということだった。ただいつまで行うのか、できればずっと続けて欲しいとの意見が多数あった。

・山本委員

拡大していきたい。

・橋田委員長

親のネットワークはすごい。自分の学校でもやって欲しいとなる。

・生涯学習部長

無料のアフタースクールができたことによって、学童や塾を辞める傾向はないのか。

・校長

特に聞いていない。塾に行っていない子が来ている。保護者は、経済的な負担がないので、助かるとのことである。

・山本委員

時間帯がかぶらないからアフタースクールと塾に行く子もいるのではないか。

・河村委員

参加しているのは児童の 3 割くらいか。

・校長

当初は 100 人くらいで続いていたが、一時減少したのでテコ入れはした。

・河村委員

女性の先生が多いが、小学校は大体このような状況か。

・学校教育部長

女性が 6 割で男性が 4 割。中学校は逆になっている。

・橋田委員長

そのほか要望などはないか。

・校長

学校教育活動の充実のため、校長裁量で使えるお金が欲しい。今の子どもたちに欠けている体験活動にはお金がかかる。保護者負担は心苦しい。

・小葉松委員

教育にかけるお金の評価スパンは 10 年単位でないとわからない。数年やっただけでは効果がでない。子どもたちが社会に出て 30 代、40 代になったときに評価されるべきものと思う。

・橋田委員長

このように校長の意見を直接聞けるのは良い。

■橋田委員長

○ これで懇談会を終了する。

■終了宣言

○ 午後3時35分

議事録署名人 河 村 祥 史

〃 小葉松 洋 子

調製者庶務係 田 中 修 一